

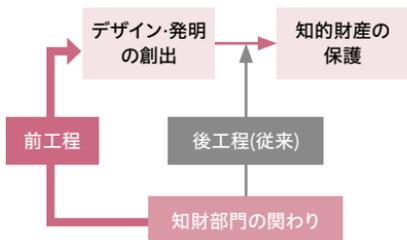
課題定義
(イノベーション創出に向けた
知財部門の在り方)

デザイン思考を用いた課題解決
(新たな価値創造の方法を
ユーザ視点で検証)

発明表彰制度
の導入

発明者のモチベーションUP
による革新的な商品の誕生

次のイノベーションへ続く
好循環の創出



新たな知財部門の関わり方として、イノベーション創出の「前工程」での働きかけを検証



デザイン思考の5つのプロセス『共感→問題定義→発想→試作→検証』にて議論



ITOKI INVENTION AWARD



座るだけで聞きやすい「サウンドパラソル」
技術的にもデザイン的にもアイコンックな商品として
話題に

デザイン思考から生まれた発明表彰

イトーキは、イノベーションを向上させる仕組みとして、斬新な発明を讃える「発明表彰」制度を導入しています。

この制度は、知的財産部門が「イノベーション向上のために知的財産部門としてどのように貢献できるのか」をテーマに、デザイン思考を実践したことで生まれました。イノベーション創出に密接に関わるデザイナーや開発メンバー（ユーザ）の本質的なニーズを深く探りながら『共感→問題定義→発想→試作→検証』の5プロセスで議論を重ね、ユーザの満足度を高めながらイノベーションを促進する仕組みを構築しました。

モチベーションUPによる新たな価値創出

「発明表彰」制度では、新商品に関連する特許出願の中から、企業価値を高め得る斬新な発明（革新性、独創性等を備えたもの）を表彰します。発明の鮮度が高い状態で表彰されるため、この制度は受賞者の新たなイノベーション創出への動機を高め、新たな価値創出への好循環を実現しています。

次の商品開発

これまでにはなかったサービス・商品が次々に生まれては消費されるなか、企業価値を高めるには継続的なイノベーション創出が不可欠です。その礎となるのは人の発想力という形のない知的財産であり、これを形にして企業価値を高める取り組みを続けていきます。



「サウンドパラソル」がオフィスに馴染む形で発展した「サウンドソファ」